

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	中国語第一		
英文授業科目名	Elementary Chinese I		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科		
担当教官名	松岡 格		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
songgange@gmail.com	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>本授業は中国語の基礎を勉強する人を対象に、中国語の正しい発音、基本文法を習得することを目的とする。まず中国語を正しく発音でき、同時に正確に聞き取れるように訓練する。その上で、まず基礎文法を学び、中国語会話を練習することを通じて中国語の基礎を築く。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし。

<b>【教科書等】</b>
<p>教科書：『ベーシック中国語』（張作義など著：郁文堂） 辞書：履修者には、辞書を持つことを薦める。</p>

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

前期では、テキストに基づいて、主に以下のように授業を進める。

A 中国語のピンイン、声調を身につけるために、繰り返し発音練習をする。

B 年月日、曜日、時刻、家族構成、買い物など簡単な生活用語を身につけるように指導する。

C 人称代名詞、指示代名詞、名詞述語文、動詞述語文、形容詞述語文など基本文法を勉強する。

後期の授業は「中国語第二」である。引き続き中国語の基礎文法を勉強し、習った内容を中国語で読める、聞ける、書ける、話せるように指導する。詳細は「中国語第二」を参照。

### 【授業時間外の学習（予習・復習等）】

授業の予習は特にいらないが、復習は大事にして欲しい。

まず、授業で出てきた会話文の発音をマスターするように、自分でも繰り返し練習してほしい。

次に、授業で出てきた文法事項の解説が十分に理解できたかどうか、よく整理してほしい。わからない点が出てきたら、授業の前後に積極的に質問してほしい。

これらの内容は、授業中に行う小テストでもチェックをする。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中の発言・回答、小テストの成績、出席状況、期末テストなどを総合して評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

授業の前後に教室で行う。

### 【学生へのメッセージ】

積極的な学習する態度が望ましい。発音の段階にできるだけ欠席しないように心がけて欲しい。また、授業日以外の日にも復習することが望ましい。

### 【その他】

なし。